

2025年 10月3日

一般社団法人日本自動車部品工業会
環境対応委員会 生産環境部会

2025年度「副産物（産業廃棄物・有価発生物）の発生状況調査」

ご協力をお願い（2024年度実績調査）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は当工業会の環境活動にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当工業会は今年度も経団連「循環型社会形成自主行動計画」フォローアップ調査に参加します。当工業会では「第9次環境自主行動計画」で2025年度の目標を設定し、達成に向けた取り組みを進めており、今回の調査は目標に対する取り組み状況の調査となります。サーキュラーエコノミーに対する関心の高まりからアンケートの設問内容が年々変化していく中、多くの企業様にご回答いただき、誠にありがとうございます。目標達成に向けた会員各位のご協力に御礼申し上げるとともに、調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお昨年度の報告内容につきましては別紙をご参照下さい。

敬具

記

1.環境自主行動計画目標達成へのご協力依頼、および 2025 年度に向けた取り組みについて

2025年度目標については、経団連「循環型社会形成自主行動計画」（第9次「環境自主行動計画」も同じ）において、当工業会は「産業廃棄物最終処分量3.6万トン以下の維持にチャレンジする（2000年度比で75%削減に相当）」、「再資源化率を85%以上にチャレンジする（再資源化率に有価発生物含む）」としており、2021年度より活動がスタートしています。

また、昨年4月にプラスチック資源循環法が施行され、本法を踏まえた取り組みについて対応が求められております。当工業会はプラスチックの資源循環に関する2025年度目標として、「JAPIA第9次環境自主行動計画（改定版）」への取り組み指針織り込み、および経団連「循環型社会形成自主行動計画」ではプラスチック関連目標を設定し（資料2参照）、取り組みを継続・推進しますので、引き続きご協力をお願いいたします。

2.調査事項(記入要領は資料1参照)

- ・2024年度(2024年4月～2025年3月)の産業廃棄物・有価発生物の発生状況。
- ・2024年度実績に影響を与えた主な取り組み・要因、注目すべき新しい取り組み、取り組みに影響を及ぼす可能性がある事象・課題、新規でプラスチックの排出量実績、C Eの取り組等。
- ・回答方法：調査票に貴社全体の集計結果を入力いただき、Excel 形式でご提出ください。

また、回答の際はファイル名の頭に「会社名」を付けてください。（“株式会社”は除く。短縮名でも可）
例)『(●●工業) 2025_【調査票】副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況調査.xlsx』

※配布資料

(会社名)2025_【調査票】JAPIA 副産物(産業廃棄物・有価発生物)発生状況調査

【資料1】2025_調査票記入要領

【資料2】経団連「循環型社会形成自主行動計画」、JAPIA「環境自主行動計画」について

【資料3】循環型社会形成自主行動計画 2024 年度フォローアップ調査結果(2023 年度実績)

3.回答期限 2025年10月24日(金)厳守 ※HP回答フォームからご回答ください

- ・問合せ先：JAPIA 技術部：https://www.japia.or.jp/contact_gi.jyutsu/

- ・調査概要、ファイルのダウンロード、回答：

https://www.japia.or.jp/topics_detail49/id=2803

以 上